

# ■ 難波千日前日本橋まちづくり協議会 役員会 MTG 次第

日時：2025年7月9日(水) 15:30～

場所：なんさん通り商店会事務所

参加者：難波千日前日本橋まちづくり協議会：丹野氏、佐々木氏、木村氏、木本氏、田原氏、川西氏、菊澤氏

大阪市建設局：入谷課長、阪口係長、清水氏

HBP：泉・岸本

## 1. 自己紹介（新メンバー挨拶）

入谷課長

## 2. 2025年度の進め方について

- ・2024年度までの検討状況の振り返り
- ・今年度の検討スケジュール

## 3. 大阪市より検討状況の説明

## 4. 協議会開催にむけて

- ・候補日：①8月8日～14時半、②8月19日～15時30分
- ・議題：①2025年度の進め方について
  - 2024年度の振り返り
  - 今年度の検討スケジュール
- ②大阪市実施調査について

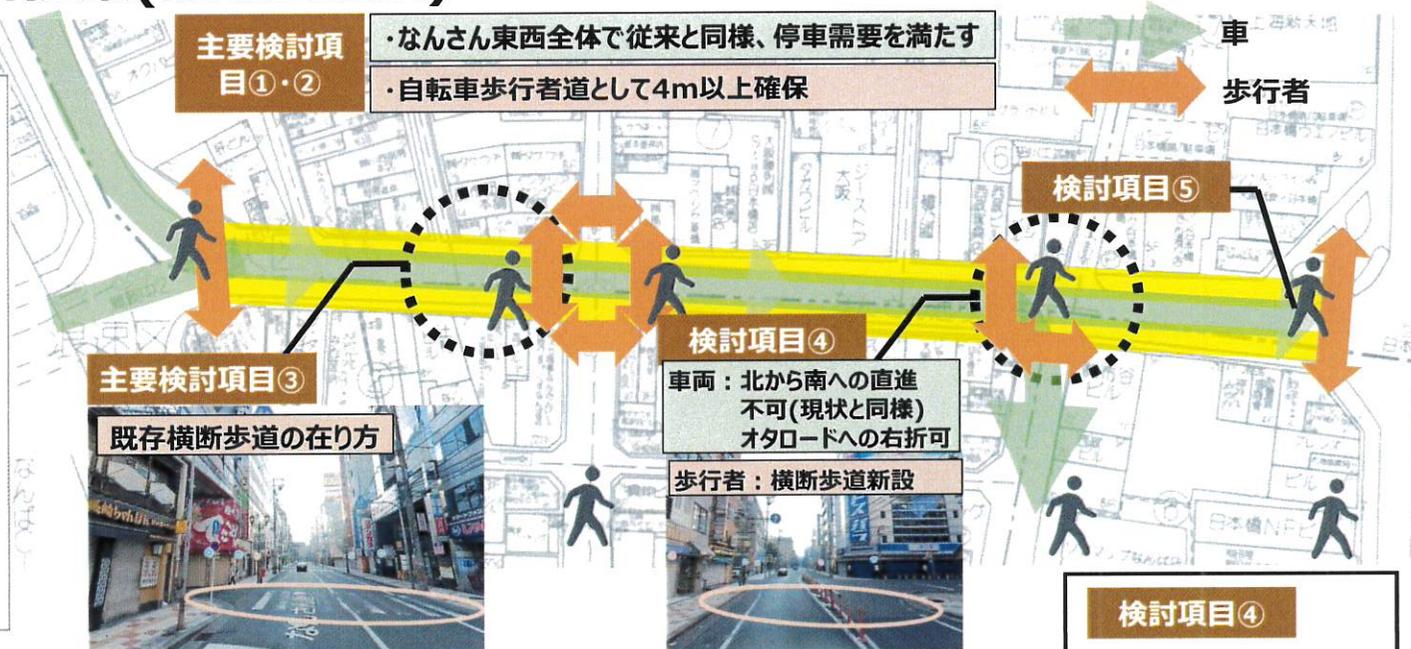
## 5. その他

以上

## なんさん東西通りの整備方針提案(協議会提案)

### 基本的な考え方

- ・歩行者空間の拡大・回遊性向上  
(歩道拡幅、電線地中化)
- ・歩行者の安全性向上  
(交差点・横断歩道の改良)
- ・車両の寄り付きに配慮  
(現在同様駐車禁止、南北のバランスに配慮)



### 主要検討項目①・②

- ・なんさん東西全体で従来と同様、停車需要を満たす
- ・自転車歩行者道として4m以上確保

### 主要検討項目③

#### 既存横断歩道の在り方



### 検討項目④

- 車両：北から南への直進不可(現状と同様)  
オタロードへの右折可
- 歩行者：横断歩道新設



### 検討項目④

#### オタロード交差点

- ・北から南への直進不可
- ・オタロードへの右折可
- ・南北横断歩道の設置

### 検討項目⑤

#### 日本橋3交差点

- ・車道を2車線化(左折・直進左折)
- ・歩道の拡幅

### 主要検討項目①

#### 東西通りの断面構成 (南北の車両寄り付きバランス)

- ・歩道拡幅、自歩道として4m以上確保
- ・荷捌きの安全性に配慮
- ・南北の車両寄り付きバランスに配慮

検討の方向性は次項参照

### 主要検討項目②

#### 自転車走行の在り方 (自転車歩行者道・車道走行)

- ・歩道を広く確保
- ・周辺との整合のため、自歩道とする
- ・車道も通行することを想定

### 主要検討項目③

#### 既存横断歩道の在り方 (道具屋筋・東道具屋筋交差点)

- ・2つの南北横断機能を維持(道具屋筋&東道具屋筋)
- ・現状の危険な状況を改善

方向性継続検討・協議

地域提案を踏まえた整備方針案を大阪市から警察へ提示、引き続き市・警察で協議を実施していく旨を確認

※整備方針案の合意には、自転車走行空間の安全確保や駐停車対策などの課題解決が必要

## 協議会提案内容

### 主要検討項目①

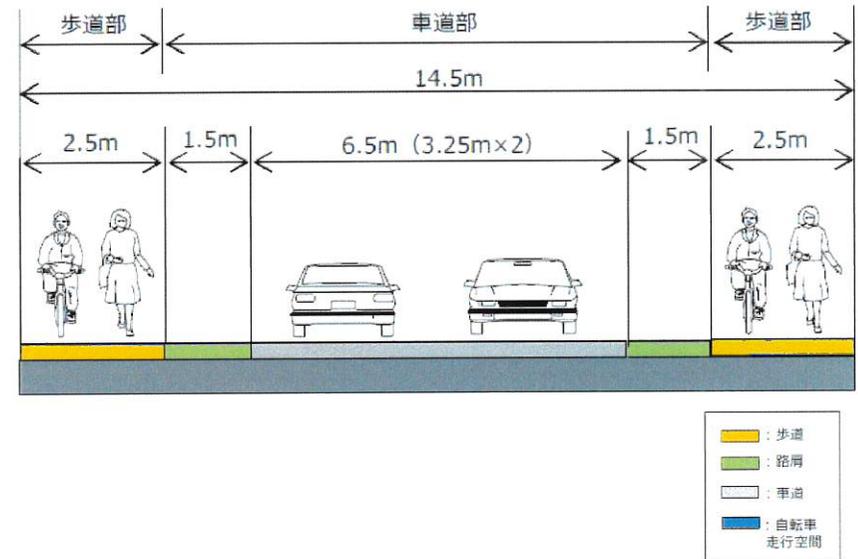
#### 東西通りの断面構成(南北の車両寄り付きバランス)

- ・歩道拡幅、自歩道として4m以上確保
- ・荷捌きの安全性に配慮
- ・南北の車両寄り付きバランスに配慮

### 主要検討項目②

#### 自転車走行の在り方(自転車歩行者道・車道走行)

- ・歩道を広く確保
- ・周辺との整合のため、自歩道とする
- ・車道も通行することを想定



## 地域提案を踏まえた整備方針(案)

### 視点1：歩道幅員

- ・両側の歩道を4.25m確保

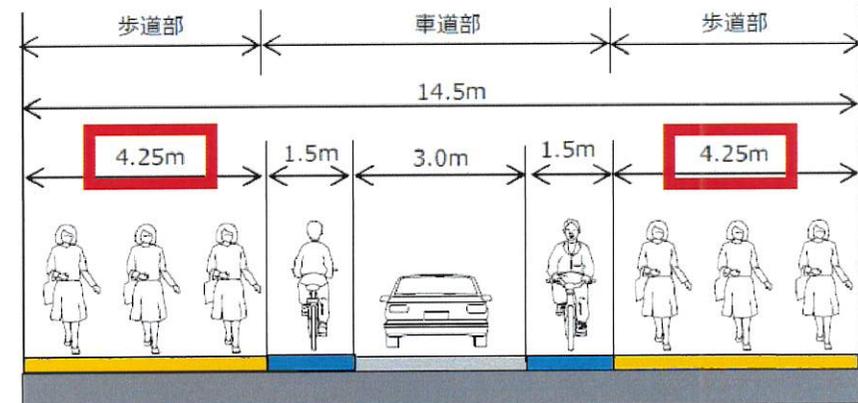
### 視点2：断面構成(南北車両寄り付きバランス)

### 視点3：自転車走行空間

- ・車道部は6m
  - 中央部：東向き一方通行の車両走行空間を3.0m
  - 両サイド：各1.5m自転車の走行空間(矢羽根)

地域提案を踏まえた整備方針案を大阪市から警察へ提示、引き続き、市・警察で協議を実施していく旨を確認

## ■整備方針案



※整備方針案の合意には、自転車走行空間の安全確保や駐停車対策などの課題解決が必要

# 難波千日前日本橋まちづくり協議会・検討スケジュール

【凡例】 ■協議会の動き  
■大阪市の動き  
■市・警察の動き

250709役員会

		【検討項目①】 東西通りの 断面構成	【検討項目②】 自転車走行の 在り方	【検討項目③】 既存横断歩道の在り方	【検討項目④】 オタロード 交差点	【検討項目⑤】 日本橋3交差点
2024		<p style="text-align: center;"><b>まちづくり構想を協議会から大阪市へ提出</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道拡幅、自歩道として4m以上確保</li> <li>・荷捌きの安全性に配慮</li> <li>・南北の車両寄り付きパランスに配慮</li> </ul> </div> <div style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道を広く確保</li> <li>・周辺との整合のため、自歩道とする</li> <li>・車道も通行することを想定</li> </ul> </div> <div style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの南北横断機能を維持(道具屋筋&amp;東道具屋筋)</li> <li>・現状の危険な状況を改善</li> </ul> </div> <div style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北から南へ直進不可</li> <li>・オタロードへ右折可</li> <li>・南北横断歩道の設置</li> </ul> </div> <div style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車道を2車線化(左折・直進左折)</li> <li>・歩道の拡幅</li> </ul> </div> </div>				
		<p style="text-align: center;"><b>地域提案を踏まえた整備方針案を大阪市から警察へ提示、引き続き市・警察で協議を実施していく旨を確認</b></p> <p style="text-align: center;">※整備方針案の合意には、自転車走行空間の安全確保や駐停車対策などの課題解決が必要 ※道具屋筋横断歩道設置経緯確認を依頼</p>				
2025	4	所轄警察との現場立会				
	5					
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度スケジュール</li> <li>・警察調整状況共有</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>横断歩道 設置経緯確認(警察)</b></p> <p style="text-align: center;">※昨年度より確認依頼</p>			
	7	役員会	<p style="text-align: center;"><b>荷捌き地域ルール検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の進め方・論点</li> <li>・完成までの長期スケジュール</li> </ul>			
	8	協議会				
	9					
	10	役員会	<p style="text-align: center;"><b>荷捌き実態調査・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・停車位置・配達先等</li> <li>・調査結果共有</li> <li>・警察協議状況共有</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>横断歩道利用実態調査・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横断歩道の滞留人数調査</li> <li>→統合した場合の滞留人数シュミレーション</li> </ul>		
	11	役員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察調整状況共有</li> <li>・個別説明内容</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>個別説明・合意形成</b></p> <p style="text-align: center;">③道具屋筋商店街</p>	<p style="text-align: center;"><b>具体整備方針の方向性合意(大阪市⇄警察)</b> <b>社会実験必要有無判断/次年度実施内容</b></p>	
	12	役員会	<p style="text-align: center;"><b>個別説明・合意形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①東西通り土地・建物オーナー・1階テナント</li> <li>②中2交差点南東ブロック</li> </ul>			
	1		<p style="text-align: center;"><b>協議会開催通知配布 + 必要に応じて個別説明</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別説明状況共有</li> <li>・協議会開催内容</li> </ul>			
	2	協議会	<p style="text-align: center;"><b>協議会総会にて具体整備方針案の合意</b> ※大阪市も出席</p> <p style="text-align: center;">【合意内容】具体整備方針(断面構成など) + 荷捌きルールの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体整備方針案</li> <li>・長期スケジュール</li> </ul>			
	3					
2026		基本設計				
2027		電線共同溝 詳細設計				
		試掘調査				
2028		<p style="text-align: center;"><b>工事</b></p> <p style="text-align: center;">(2028~2032)</p>				
2029						
2030						
2031						
2032						
		完成				

# なんさん東西通りの一方通行化に係る検討状況

令和7年7月

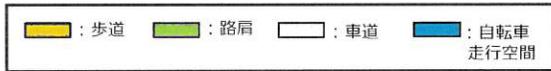
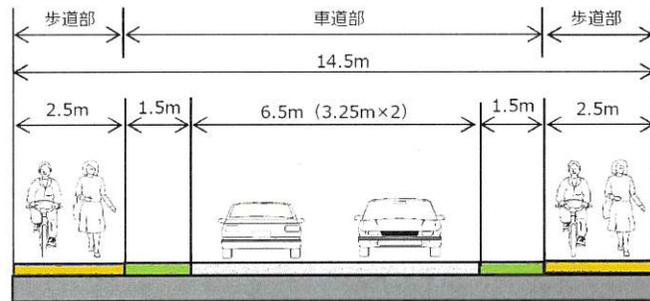
大阪市建設局企画部企画課（道路空間再編担当）

# R6年度までの検討内容

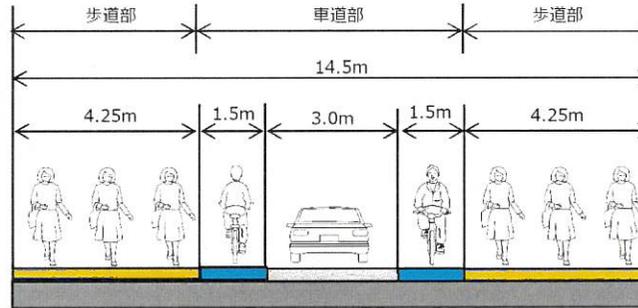
## なんさん東西通りの幅員構成について

### 【自転車走行空間整備イメージ】

#### ■ 現況



#### ■ 整備後



自転車走行空間は矢羽根路面標示等（矢羽根、自転車ピクトグラム）を用いた整備を予定している。

#### 【歩道のサービス水準】

歩行者交通に対応し得る十分な幅員計画として、さらには快適な歩行環境の形成を行う必要がある。  
大規模開発地区は、歩道における交通流調整等の目的が異なることが想定されるため、高水準のサービスを行うよう充分な幅員とする。歩行者通行によるサービス水準は次のとおりであり、歩道Aを目標とする。

A 自由歩行	27 ~ 27.5人/m・分
B 歩道利用	27 ~ 31
C 歩道利用	31 ~ 37
D 歩道	37 ~ 47
E はほとんど歩道	47 ~ 100

※ 歩道、歩道利用（カラー舗装等）、ストリートファニチャーの設置等が行われることが望ましい。

出典：大規模開発地区関連交通計画マニュアル改訂版、H26.6、国土交通省都市局都市計画課

#### 【現況のサービス水準】

・2,078人/時間 ÷ (2.5m × 60分)  
= 13.9人/m・分

#### 【整備後のサービス水準】

・1,903人/時間 ÷ (4.25m × 60分)  
= 7.5人/m・分

→ 整備後は2倍程度の歩行者環境向上となる

※ 歩行者・自転車交通量は  
2021年11月27日（土）計測結果  
（南側断面ピーク時間）

### 【自転車走行空間整備 根拠資料】

#### ■ 自転車走行空間の整備形態について

	A 自動車の通行が激しい道路	B A、C以外の道路	C 自動車の通行が低く、自転車交通量が少ない道路
整備形態	自転車道（横断物による）	自転車専用通行帯	車道混在（矢羽根路面標示等で注意喚起）
速度	速度が50km/h程度	A、C以外の道路	速度が40km/h以上、かつ自転車交通量が4,000台以下

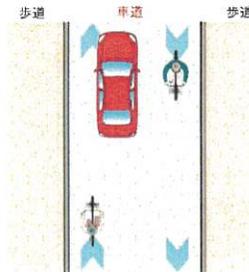
※ 自転車専用通行帯：車両通行帯の設けられた道路において、普通自転車が通行しなければならない車両通行帯のこと  
※ 車道混在：自転車と自動車が車道内で混在通行する道路のこと

#### ■ 一方通行における自転車対面通行について

##### (2) 一方通行道路における車道混在の方法

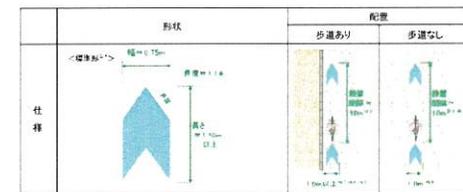
補助標識「自転車除く」が設置してある一方通行道路では、自動車の一方通行と注進方向の車道上にも、矢羽根型路面標示等を設置するものとする。幅員に余裕がある場合は、自動車の一方通行とは逆方向の車道上を優先して、自転車専用通行帯に併じた自転車通行空間の幅員の確保及び路面標示を設置することが望ましい。

出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン



図II-24 一方通行道路における車道混在の例

#### ■ 矢羽根路面標示等の仕様について



- ※1 自転車は、車道や自転車道の中実から左の部分まで、その左側に沿って通行することが原則である。このため、路面標示の幅員は、標準仕様を用いない場合でも、この原則を逸脱しない範囲で適切な形状・位置を設定するとともに、自転車専用通行帯として共有する幅員を自転車利用者やドライバー双方に認識させることが重要である。
- ※2 矢羽根型路面標示の設置間隔は、10mを標準とし、交差点部等の自動車と自転車の交錯の機会が多い区間や、事故多発地点等で短間隔を設けず。
- ※3 郊外部においては、視認性を考慮した上で、10mより広い間隔（上限100m程度）で設置することもできる。
- ※4 いずれのタイプも、矢羽根型路面標示の右端を、縁石又は車道外側縁から1.0mの位置に合わせる。
- ※5 路肩に創溝がある場合は、側溝部分を避けて1.0mとすることが望ましい。

出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

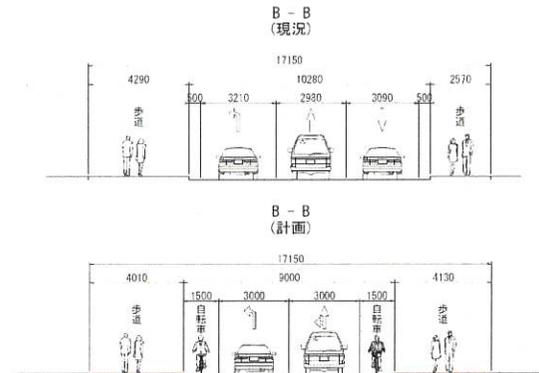
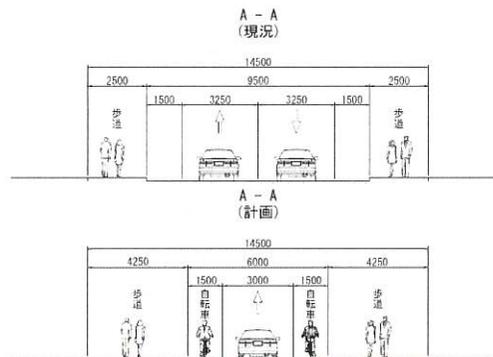
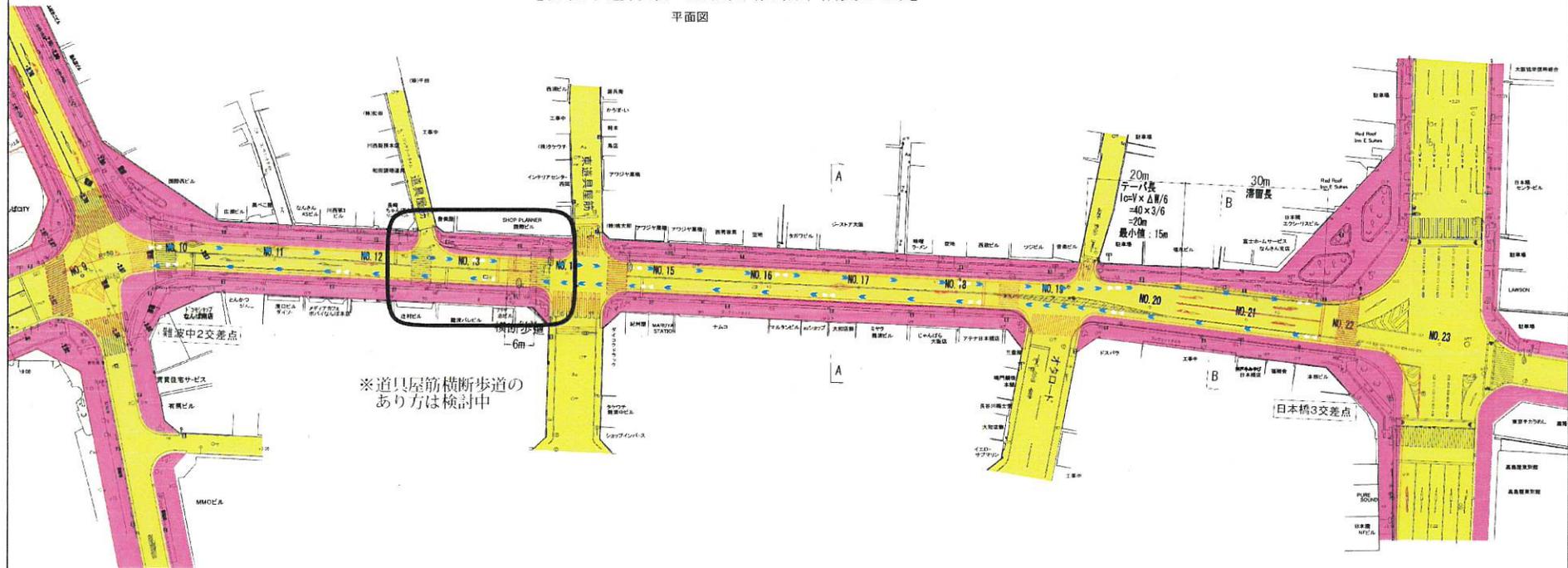
0.75m以上

# R6年度までの検討内容

## なんさん東西通りの幅員構成について

【自転車通行案 重ね図(自転車幅員1.5m)】

平面図



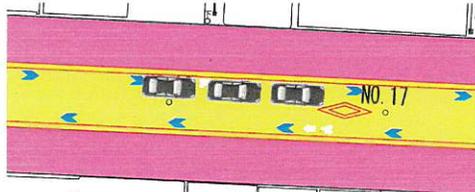
# R6年度までの検討内容

## なんさん東西通りの幅員構成について

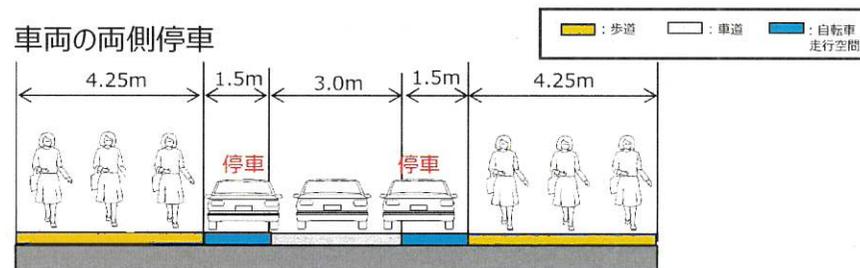
これまでの検討を踏まえ、一方通行化の道路断面構成案を整理  
交通管理者との協議でも、方向性について理解は得られたが、以下の懸念点を課題として指摘された

### ●自転車走行空間（矢羽根）への車両の停車

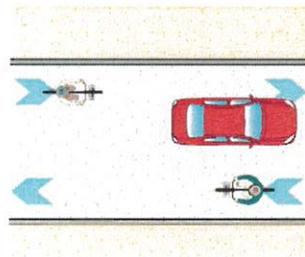
自転車走行空間（矢羽根上）の連続した停車



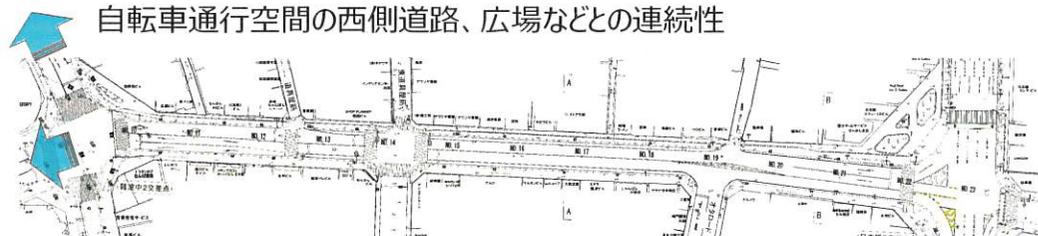
車両の両側停車



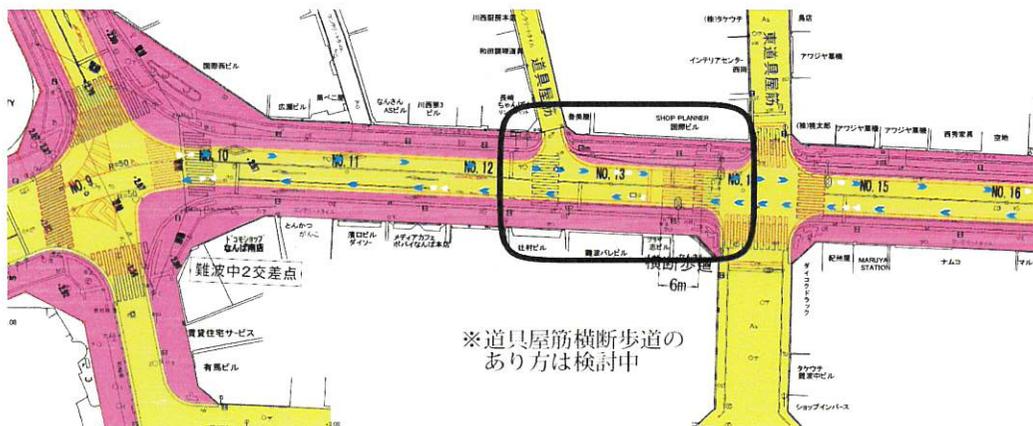
### ●自転車走行空間の周辺区間との整合



自転車通行空間の西側道路、広場などの連続性



### ●道具屋筋商店街前の既設横断歩道の取扱い、など



➡道具屋筋商店街前にある横断歩道の  
設置経緯は、交通管理者に確認中

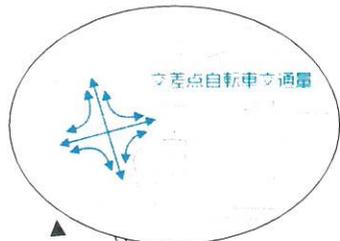
# R7年度の調査検討内容

## R7年度の調査計画（案）

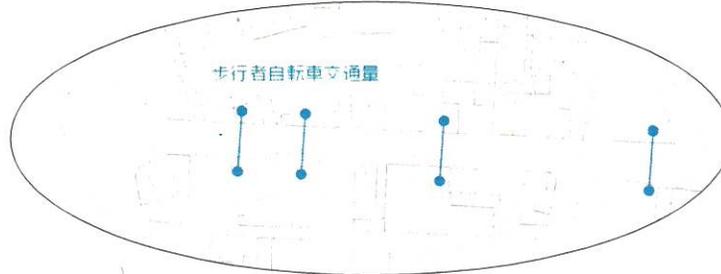
R7年度は、引続き検討を進めるにあたり必要となる下記調査を実施予定

※今後契約予定のため、現時点案の概要のみ記載

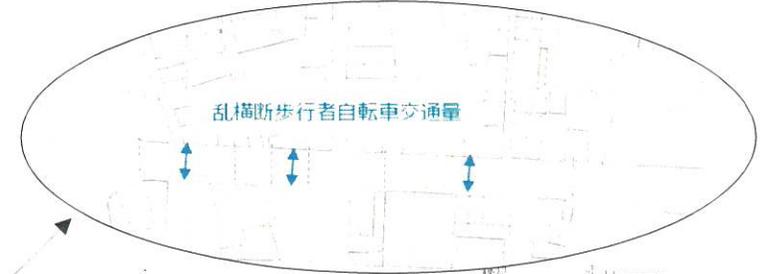
### ■ 交差点自転車交通量調査



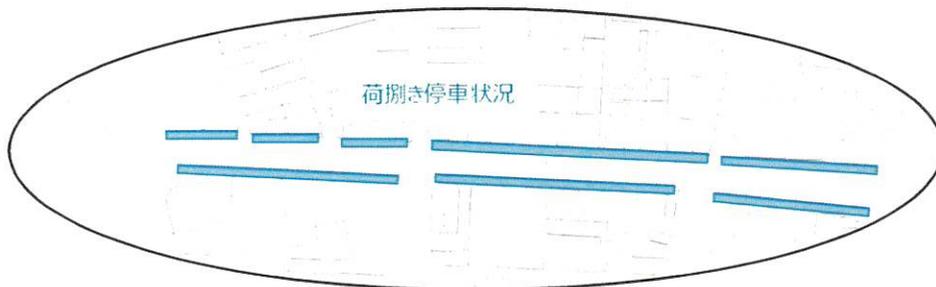
### ■ 歩行者自転車交通量調査



### ■ 乱横断歩行者自転車者交通量調査



### ■ 荷捌き停車状況調査



### ■ 道具屋筋商店街前の横断歩道関連調査

- ・ 道具屋筋商店街前横断歩道の利用者動向調査  
または
- ・ 横断歩道の滞留人数調査